

2019年度

事業報告書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

目 次

事業の概要	(1)
Ⅰ. 公益事業	(1)
1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(くにたち市民芸術小ホール)…	(1)
2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業 (くにたち郷土文化館)	(4)
3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業 (くにたち市民総合体育館)	(5)
4. 共通公益事業 (総務課)	(6)
Ⅱ. 収益事業等	(7)
1. 付帯サービス事業	(7)
2. その他の事業	(7)
Ⅲ. 管理 (法人管理事業)	(7)
1. 役員及び役員会等に関する事業	(7)
事業の内訳	(8)
1. 自主・共催事業	(8)
(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業	(8)
(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業	(1 2)
(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業	(1 6)
(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業	(2 0)
(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等	(2 0)
(6) 総合評価	(2 2)
2. 指定管理事業	(2 4)
(1) 市民芸術小ホールの利用状況	(2 4)
(2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況	(2 6)
(3) 市民総合体育館の利用状況	(2 8)
(4) 有料公園施設等の利用状況	(3 0)
3. 管 理	(3 2)
(1) 役員及び役員会等に関する事業	(3 2)

事業の概要

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団は、定款に掲げた文化・スポーツ事業等を企画実施し、市民芸術小ホールなど3施設を中心とする管理・運営、諸活動を基本としながら、広く芸術・スポーツによるまちづくりを行っております。

その際、次の3点を重要課題として位置付けました。

- 芸術小ホールの事業では公演のみならずワークショップ等の手法を用いた多角的な事業運営、大学や学校、他館・他団体との連携などを進めていきます。そのために財団・市・大学等の多角的連携による文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業の助成継続に市とともに取り組みます。

さらに教育、福祉、まちづくりなど地域連携を深めるソーシャルインクルージョンの充実を進めていきます。「市文化芸術条例」や「文化芸術推進基本計画」の理念を生かすとともに、芸術小ホールとして市の文化芸術振興に果たす役割や制作機能の位置付けを行うよう協議を引き続き行っています。

- 谷保天満宮などに代表される市内に現存する有形・無形の歴史的文化的遺産は、市民が国立市に強い誇りと愛情を感じる気持ちを育む重要な要素の1つです。これらの歴史的文化的遺産の適切な保護と活用は郷土文化館を中心に行い、将来にわたって市民共有の財産として守っていきます。

- 市民総合体育館では、東京オリンピック・パラリンピックを見据え、人々のスポーツに対する関心が高まることから、特に新しいスポーツにチャレンジ出来るよう、子どもを対象にした体験会を開催していきます。

また、高齢者は健康に対する関心が高く、ウォーキング等の軽スポーツへの参加も多いことから、高齢者を対象にした通年の事業展開を目指します。このほか、しょうがい者の利用が増えることが見込まれることから、気軽に施設を利用できるよう、ハード・ソフトの両面で改善を重ねてまいります。

このような視点を持ちながら、2019年度は以下のような事業を展開しましたが、年度末において新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自主事業及び貸館事業が多大な影響を受けました。

I. 公益事業

1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(定款第4条第1号)(くにたち市民芸術小ホール)

○館内利用者数 59,767人(目標数68,000人)

ア. 芸術文化事業

芸術小ホールでは、芸術環境創造事業7事業、芸術振興事業17事業、その他を5事業の、計29事業を実施しました。主催共催別では主催19事業、共催10事業となりました。

2020年2月中旬時点で、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により主催4事業のうち4公演を中止あるいは延期としています。

(ア) 芸術環境創造事業

地域の芸術的リソースを活かすこと、また芸術を通じた地域とのつながりをつくることを目指した事業を行いました。また、ビエンナーレ事業を一旦中止したことにより、2020年度以降にアーツカウンシル東京の協力を得て、ビエンナーレ事業に変わる新たな事業の調査・検討を行っていくこととしました。

① 教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

「芸術文化で地域と福祉をつなぐライフステージ事業」として、子育て家庭、高齢者、不登校児など誰もが芸術文化に親しめるアクセス機能の強化を図りました。

多摩エリアでの文化創造拠点として多岐にわたる活動を行う、たちかわ創造舎による乳幼児からおとなまで楽しめる演劇公演は4年目となりました。実施した2回のうち1回は東京オリンピック・パラリンピック文化プログラムとして（公財）東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京の助成を得ての開催となりました。

「Meet the Artists」では小学校2校に3回、中学校の特別支援学級クラスに1回、適応指導教室に1回アーティストを派遣しました。和太鼓、パントマイム、なわとびパフォーマンス、打楽器演奏と幅広いジャンルの芸術を直接体験してもらうことができました。

② 学校教育との連携事業

地域の発展と人材育成に関する、国立音楽大学と国立市による包括連携協定に基づき行われている「くにたちデビューコンサート」は、これからの音楽芸術を担う若手音楽家に発表の機会を与える育成支援事業として2公演を行いました。昨年も好評だったクリスマスの時期に開催のオペラ歌曲企画、また2名のピアニストによるジャズライブはともに映像や舞台設営に工夫を凝らした演出を施し、また休憩時間に飲食の提供を行うことでさらに来場者の満足感を高めることとなりました。

国立音楽大学附属高校にゆかりのある打楽器奏者・上野信一氏による、夏休みを利用した「パーカッションアカデミー」は平成28年、29年に続き2年ぶりの開催となりました。次世代の音楽人材育成事業として音高・音大進学を希望する学生や日ごろ打楽器を演奏している社会人など22名がそれぞれ2コマの講義を受講し、最終日には全員がホールで演奏発表を行いました。

③ 地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

市内および近隣在住の講師による市民一芸塾では初心者に向けた3講座「オカリナ」「お茶」「パステル画」を通し、講師・参加者双方が学び、交流する場の創出を行いました。また、前年度実施の3講座「文章教室」「植物画」「水墨画」について、制作作品を展示する「市民一芸塾作品展」を開催しました。

（イ）芸術振興事業

国立市文化芸術条例を踏まえ、誰もが文化芸術に親しみより深くかかわりを持つ機会を提供するとともに、鑑賞と交流の拡充を図る事業を行いました。

① 芸術文化の創造事業

一般財団法人地域創造の支援プログラムとして実施した「公共ホール現代ダンス活性化事業」では、市民参加者を公募し、8回のクリエーション（稽古）を経て舞台公演を創作しました。同公演は芸小創設以来、初めての試みとして全館（屋外ピロティを含む）をステージに見立て、同時多発的に館内で行われるパフォーマンスを観客は能動的に観て回遊する形式をとりました。さらに中学校特別支援クラスでのアウトリーチ活動を行いました。新企画となる「ステージクリエーションシリーズ」では、創作作品を生み出す機能を高めることを目的とし、初年度は多和田葉子氏の作品2本を演劇作品として上演しました。現在演劇界でも注目の若手演出家2名が1作品ずつ演出し、公演後には多和田氏を迎えたアフタートークを行い作品および演劇への理解を促しました。また、4回目となる多和田氏の多岐にわたる芸術活動を紹介する「多和田葉子複数の私」では、市民が創作した文章を自由な朗読形式で舞台発表し、それを氏が講評することで文学への新たなアプローチを提示することとなりました。なお、多和田氏関連のこの2事業は東京オリンピック・パラリンピック文化プログラムとして（公財）東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京の助成を得ての開催となりました。

「inc. percussion session in Kunitachi」は過去2回芸小で開催した、若手演奏家育成と地域への芸術普及を目的とした打楽器プロジェクトで、今回は東京オリンピック・パラリンピック文化プログラムの一環として行われました。出演者への委託料なく4日間

に6種のワークショップ、4回のランチタイムコンサートを行い、いずれも市民に対して無料で提供することができました。「鼓童交流公演」は、国内外で活動する和太鼓カンパニーの第一人者である太鼓芸能集団・鼓童の多摩地域とのかかわりを重視した拠点公演として開催しました。

② 芸術文化の継承事業

「フレッシュ名曲コンサート」は東京都歴史文化財団（東京文化会館）との共催で良質なクラシック音楽に気軽に触れていただく場として開催しました。若手ながら実力派として注目を集めている4名の弦楽アンサンブルが好評を得ました。「ホール寄席」では、すたじお寄席のレギュラーメンバーから3人目の真打が誕生し、口上では師匠の立川志らく氏はじめ門下の真打がほぼ全員勢ぞろいするという珍しい会となりました。

小学生を対象とした夏休みに開催のこども寄席は9年目となりすっかり定番化しました。他所で開催される同様の講座と異なり真打が講師を務めていることで、他市在住者から積極的な参加がありました。また同時期に、美術作品の鑑賞方法を親子で学べる「親子で美術を遊ぼう！」を初めて開催しました。

③ 芸術文化の交流・支援事業

「スタジオコンサート」は3回実施され、70席ステージの規模感を活かし出演者の演奏や人となりが身近に感じられる演奏会となりました。「すたじお寄席」は、レギュラーメンバーから3人目の真打が輩出されました。「ホール寄席」「こども寄席」との連携を行いながら、落語事業の定着を進めることができました。

「日本・ベルギー国際版画交流展」では、市内ギャラリーとの共催でベルギー・日本両国の版画家による作品を展示し、芸術による国際交流の一翼を担いました。

「芸小シネマ」は著名な工芸家とその作品を紹介する2つの映画を上映し、その内容とともに貴重な文化映画を鑑賞できる機会としました。くにたち市民オーケストラによる「ニューイヤーコンサート」はくにたちの新春を飾る定番コンサートとして定着した人気を得ています。

④ 創客、利用拡大事業

4年ぶりとなる「ビートルズ・トリビュートナイト」は市内のライブハウスでビートルズファンには著名な「リバプール国立」の協力を得て開催し、セミプロとして活躍する3バンドが出演、往年のファンを中心に盛り上がりを見せ、くにたちらしいイベントとして継続希望の声が上がりました。「ランチタイムコンサート」「クリスマスコンサート」は誰でも楽しめるコンサートとして地域に定着し、定番事業となりました。多くの出演者に演奏機会を提供するため基本的に各回2団体出演とし、様々な音楽を楽しんでいただける機会としました。「ホールとグランドピアノのシェアプログラム」は毎回受付から数日で予約が埋まる人気事業となりました。多くの市民に利用がいきわたるよう運営方法の細かい見直し、工夫を行いました。

(ウ) その他

① 自主事業、連携事業企画調査事業

全国公立文化施設協会、地域創造等の研修を活かし各職員の課題に応じてアートマネジメント研修等に参加しました。また広報の効果を上げ活性化を行うため前年度導入のSNS（ツイッター）とデジタルサイネージの活用を図りました。さらに財団三館共通のメールマガジンを導入し、広報手段の充実を進めました。

② 実行委員会参画事業

定番となった「第44回くにたち音楽祭」「第26回吹奏楽フェスティバル」、「第29回ファミリーフェスティバル」、くにたちギャラリーネットワーク連携の「美術講演会」、「わくわく子どもフェスタvol. 7」を開催しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

2019年度の市民芸術小ホールの施設利用件数及び利用料収入総額については、前年度と比べて利用件数で28.7%増の1,444件、利用料収入額は9.2%（1,451,440円）増の17,263,190円となりました。利用件数増加の主な原因は、前年度が2018年1月～8月31日に行った外壁改修工事の騒音による貸し出し制限の影響を受け件数が減少していたのが、平常時の利用状況に回復したことによるものです。

施設の老朽化に伴う修繕費は2019年度も増加傾向にありました。指定管理者が自主的に対応する小額修繕には都度対応を行っていますが不測の事態への対応体制も求められています。その状況に追い打ちをかけ2019年10月の台風では浸水がありホールの音響機器、スタジオのグランドピアノ、床面等に大きなダメージを受けました。数年後に控えた設備・機構・構造等大型改修を鑑みつつ、日常的な修繕への対応が常に求められています。

2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業(定款第4条第2号)(くにたち郷土文化館)

○館内利用者数 17,475人（目標数25,000人）

郷土文化館では、自主事業36、共催事業5の合計41事業を実施しました。

事業内容は、常設展示事業4、企画展示事業4、資料収集・調査・研究事業9、講座事業10、市民が参加及び体験する事業として、郷土の伝統文化を学ぶ体験事業11、郷土の自然環境を学び体験する事業3となっています。

ア. 郷土文化館事業

(ア)郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保存、調査研究、教育支援のための事業

① 展示事業

当館が収蔵する災害関連資料を公開し、国立の人々が災害とともに生活した歴史を発信し、今後の災害時に向けての防災知識を蓄える機会とした「くにたちと災害」、陶芸サークル6団体で実行委員会を組織し、創作活動の成果を発表する場とともに、ワークショップで実際にマグカップ等の作成や電動ろくろ体験をして陶芸の魅力を感じてもらおう機会とした「第8回くにたち陶芸展」、本田家資料及び、市広報課移管写真を中心に、明治・大正・昭和・平成と移りゆく時代の中で、カメラが写した国立の風景や人々の様子を紹介した「カメラが写した国立～本田家資料と広報課移管写真を中心に～」、市内の公立・私立の3年生を対象とした民具案内と連動した冬季企画展「むかしの暮らし展」の4事業を実施して延べ約6,000人の観覧者がありました。

② 講座事業

それぞれの企画展に関連したワークショップ、見学会、講演会、鑑賞会等を開催し、展示テーマへの関心を高める機会としました。本年度は特に「くにたちの自然と生きものの関わり」と題し、「野鳥の窓ガラス衝突ーいったい鳥に何があつたのかー」等、自然講座を2回実施しました。

(イ)市民が参加及び体験する事業

① 郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

伝統行事など、市民が主体になり楽しむ事業を展開しました。市内の公私立小学校の3年生を対象にした恒例の民具案内は、2019年度も公立小学校8校、私立小学校2校の合計10校、700人を超える児童生徒を迎えることができ、冬季企画展

「むかしのくらし展」の見学と合わせ、郷土の歴史と民俗を体験的に知る機会としました。また、古民家を活用した伝統行事や体験事業も、古民家見学者や事業参加者の輪を広げ、郷土の魅力を再発見する役割を果たしました。

② 郷土の自然環境を学び体験する事業

市内NPOの協力をいただき、主に小学生を対象に、体験や観察を主体とした「くにたち自然クラブ」事業等を実施しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

2019年度の郷土文化館の入館者数は17,475人で2018年度と比較して4,579人、20.8%の減となりました。また、2019年度の古民家の見学者数は11,235人で2018年度と比較して4,202人、59.7%の増となりました。郷土文化館の減は、新型コロナウイルスの影響により、里山フェスタ、さくらウォーキング等のイベントの中止、古民家の増は、2018年度屋根茅葺工事による5ヶ月の閉館による影響と思われる。

郷土文化館・古民家の施設・設備等の利用料収入は、2019年度は1,169,700円で2018年度と比べ52,300円、4.3%の微減となっております。なお、市主催事業の減免措置については、10.0%の増となっております。事業収入等の状況は、2019年度は573,970円で、2018年度と比べ352,530円、38.0%の減になっており、これは新型コロナウイルスの対策として施設利用を制限したところによるものです。

ウ. 市内遺跡整理調査業務受託事業（定款第4条第5号）

市内遺跡整理調査業務受託事業として、国立市から2018年度市内遺跡緊急調査の整理及び報告書の作成業務を受託し、完成させました。

3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業（定款第4条第3号）

（くにたち市民総合体育館）

○館内利用者数 189,215人（目標数210,000人）

ア. スポーツ及びレクリエーション活動の振興事業、市民が参加及び体験する事業

総合体育館では、自主事業20件、共催事業5件、他組織の事業への協力が2件で合計27事業を企画しましたが、共催事業2事業は新型コロナウイルスのため中止しました。このうち新規は「小学生ラグビー体験会」でした。小学生を対象に2日間で延べ26名が参加しました。その後のワールドカップでの日本代表の好成績により人気も高まっていますので、継続して開催していく予定です。また、2018年度に試験的に実施した「第一小学校体力テスト対策事業」は全学年を対象に実施しました。体力テストの結果、第一小学校は75%の学年で市の平均を上回りましたので一定の効果があったと評価しています。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月上旬以降に開催する6事業はすべて事業途中で中止しました。

共催事業では国立市体育協会と5月5日こどもの日に第29回ファミリーフェスティバル（参加者・10,968人、4.9%減）を、10月14日体育の日に第29回くにたちウォーキング（参加者・520人、3.7%減）を開催しました。なお、スポーツ教育講演会と第29回ダンスコレクション（ダンスコレクション実行委員会と共催）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総合体育館利用者数（南市民プラザトレーニング室を含む）は個人が110,750人

(7,549人、6.4%の減)、団体が76,888人(8,277人、9.7%の減)でした。新型コロナウイルスのため3月2日からトレーニング室と室内プールを休室としました。しかし、他市の体育館の休館に伴い体育室の個人利用も急増したことから、3月4日からは体育室の個人利用も休室とし、申込済みの体育室の貸切利用のみを開室することとしました。このため総合体育館の開館はほぼ11か月になりますが、このことを差し引いてもトレーニング室と室内プールは利用者が減少しています。

また、2018年3月より多摩障害者スポーツセンターの改修工事に伴い、暫定的にしょうがいしゃには「スマイルカード」を発行し無料で利用していただいていたりましたが、2019年7月より制度化し、本格実施することになりました。

総合体育館の個人及び団体利用の利用料収入は32,532,100円で、2018年度と比べて2,750,605円、7.8%の減収でした。2019年2月末まではほぼ2018年度と同じ水準でしたので、新型コロナウイルスの発生が無ければ2018年度並みの収入があったものと見込まれます。

有料公園施設等の利用状況は、3箇所あるテニスコートは、26,018時間、利用率は78.4%、3箇所の野球場は、5,966時間、利用率は59.9%、サッカー場は、1,151時間、利用率は、58.5%でした。利用料収入は、テニス、野球、サッカーの合計で、18,136,650円で、2018年度と比較して1,245,150円、6.4%の減収でした。減収の理由ですが、テニスコートについては夏期の酷暑による利用中止が多かったため、野球場とサッカー場については台風の被害により河川敷公園の野球場とサッカー場が10月から翌年3月まで利用できなかったためです。

ウ. 学校開放受付業務受託事業（定款第4条第5号）

国立市立小・中学校（11校）の体育館と校庭の施設開放受付業務を国立市から受託して行いました。

エ. 特定保健指導における運動継続支援業務受託事業（定款第4条第5号）

国民健康保険が実施する特定保健指導における運動継続支援業務を国立市から受託し、40歳から65歳の市民を対象として健康増進に寄与しました。利用者数は延べ460人となり、2018年度と比べて201人、30.4%の減になりました。実利用者が53人、28.0%減少したのが大きな要因です。2年連続の大幅な減少ですので、今後、市と原因等を検討していきます。

4. 共通公益事業（総務課）

ア. 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）

市民団体等からの申請にもとづき、助成選考委員会にて厳正な審査を行った結果、市民団体が実施している事業で、広く市民に公開し、市民的意義の大きい「第43回ふれあいスポーツのつどい」など10事業に助成しました。

・助成団体 10団体 ・助成金額 1,510,000円

イ. 財団広報紙「オアシス」の発行等事業（定款第4条第7号）

各館の事業を中心に、年6回隔月に財団広報紙「オアシス」を発行し、市内全世帯に配付するとともに、広く財団の事業内容などをお知らせするため、ホームページに掲載しました。また、ホームページの内容の充実を実施しました。

ウ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総務課は各館の指定管理事業に関わる予算編成、予算執行管理等を適正に行いました。

Ⅱ. 収益事業等

1. 付帯サービス事業（定款第4条第2項）

ア. チケット販売事業

市民芸術小ホールを借りて利用する団体等から受託して、受託販売手数料を得て、音楽・演劇等のチケットを販売しました。

・2019年度の受託団体数 13団体（13件） 受託販売手数料 29,300円

イ. 飲料水等販売事業

①市民芸術小ホール来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

・2019年度の販売額 494,877円 ・販売数12,339本

②郷土文化館来館者への付帯サービスとして、ショーケースを設置し、健康飲料水等を販売しました。

・2019年度の販売額 116,160円 ・2019年度末棚卸額 7,160円

ウ. グッズ等販売事業

郷土文化館来館者への付帯サービスとして、特別展等で販売した記念グッズ（手ぬぐい、バッジ等）を中心に関連商品を販売しました。

・2019年度の販売額 105,100円 ・2019年度末棚卸額 1,272,285円

エ. 体育用品の販売事業

総合体育館の施設利用者への付帯サービスとして、ピンポン球、バドミントンシャトル、水泳帽、ゴーグル等の体育用品を販売しました。

・2019年度の販売額 341,750円 ・2019年度末棚卸額 83,842円

2. その他の事業

ア. 公益事業外の施設貸与事業

市民芸術小ホール施設及び市民総合体育館の施設利用について、国立市との協定に基づき、その他の施設貸与事業として、幼稚園、学校等の卒業式等への貸付、敬老大会・成人式等への貸付を行いました。

Ⅲ. 管理（法人管理事業）

1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第7号）

理事会、監査、評議員会を、定款に基づき開催しました。

- ・理事会 4回
- ・評議員会 3回
- ・中間監査 1回、決算監査 1回

以上が、2019年度公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の事業の概要です。今後の財団運営に当たっては、市民参加の事業展開を図り、効率的な経営を目指して、一層の努力をまいります。

事業の内訳

1. 自主・共催事業

(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

〔市民芸術小ホール〕（決算額 24,101,920 円）

(ア) 芸術環境創造事業

①教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

計画事業 通し番号	報		
	事業名	開催形態	実施日・期間
1	くにたち芸小123&◎シアター ①「にんぎょ姫」 ②「かぐや姫～竹取ものがたり」 ③「ドン・キホーテとサンチョ・パンサのおかしな旅」←中止	主催	①8月3日 ②10月22日 ③3月7日←中止
2	歌う芸術小ホール！Inスタジオ	主催	①6/12 ②3/11←中止
3	Meet the Artists (5回) ①なわとび ②打楽器演奏・体験 ③④和太鼓演奏・体験 ⑤パントマイム	主催	①10/16 ②11/1 ③12/18 ④12/19 ⑤2/15

②学校教育との連携事業

○ △	4	パーカッションアカデミーinくにたち2019	共催	8月13日～8月15日
△	5	くにたちデビューコンサート ①Donizetti e Verdi オペラへの誘いⅡ ②TWIN PIANOS JAZZ-武本和大×田谷紘夢	主催	①12月25日 ②2月14日

③地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

	6	市民一芸塾 ① オカリナ入門講座 全5回 ②「お茶を楽しむ心を伝えたい」講座 全5回 ③パステル画塾 全5回	主催	①10/2～10/30 ②11/16～12/21 ③2/27～3/27
△	7	市民一芸塾作品展	主催	9月7, 8, 12日

(イ) 芸術振興事業

①芸術文化の創造事業

	8	公共ホールダンス活性化事業 市民参加公演	共催	11月22日～24日、 12月4日～8日 (計9日間)
○	9	inc. percussion session in kunitachi	共催	2月21日～2月24日
△	10	芸小ステージクリエーションⅠ (多和田葉子複数の私 関連企画) 『夜ヒカル鶴の仮面』『オルフォイスあるいはイザナギ』	主催	11月16日
	11	鼓童 交流公演2019	共催	9月22日 9月23日
○ ● △	12	多和田葉子 複数の私 Vol.04 「わたしのことば、わたしのくにたち朗読会」	主催	11月6日

- こどもおすすめ事業
- ☆ 協賛事業
- △ 文化庁助成申請事業
- 新規事業

告	入場料等 (円)	入場者数 人(定員)
事業内容及び説明		
舞台芸術に親しむ公演として、たちかわ創造舎を拠点とする劇団のファミリー向けレパートリーを上演しました。 ①「にんぎょ姫」 ②「かぐや姫～竹取ものがたり」 ③「ドン・キホーテとサンチョ・パンサのおかしな旅」←中止	大人400 こども0～200	194
特に高齢者層に人気の事業。往年の歌声喫茶をほうふつとさせる雰囲気、出演者と参加者が声を合わせ童謡から歌謡曲、シャンソン等を生演奏で歌いました。	500 歌集200	58
市内の小中学校などに、さまざまなジャンルの芸術家を派遣するアウトリーチ事業。なわとび、打楽器演奏・体験、和太鼓演奏・体験、パントマイムを5回開催しました。	0	286
国立音大・音高と強いつながりを持つ講師・上野信一氏率いるパーカッション楽団フォニックス・レフレクションとの共催で、打楽器演奏能力の向上を目指す講習を行う育成事業を行いました。講習3日間、公開公演1回を実施。	参加費 学生20,000 一般25,000	49
国立音楽大学出身で、これからの音楽芸術を担う若手音楽家に発表の機会を与える育成支援事業を行いました。①では、ソプラノ歌手2人、テノールとバス各々1名とピアノ奏者の計5名によるオペラ曲ガラコンサートを、②では普段は別々に活動する、優れたピアニストによる二台ピアノのジャズ公演を開催しました。	1,000	463
地域の専門家を講師として招聘して、市民向けに造形や実演の文化芸術講座を3回開催しました。	2,000	265
平成30年度に実施された秋(文章教室「自分らしく、自由に」)、冬(初めての植物画「お正月の花を描こう」)、春(古典模写で学ぶ「水墨画講座」)の一芸塾で受講者が制作した作品展を開催しました。	0	63
コンテンポラリーダンサーの東野祥子を迎え、地域創造の支援プログラムとして、市民出演舞台作品を創作し、12/8に「ENDSCAPES」の名称で芸小ホール全館を使用し公演しました。	0	118
世界的な活躍を行う打楽器奏者・加藤訓子氏主宰による、若手演奏家育成プログラム。4日間の期間中、無料コンサート4本、無料ワークショップ6本、演奏家向け勉強会4回(一般公開あり)を実施しました。	0	840
多和田葉子氏の戯曲作品2本を、現在国内で注目される二人の若手演出家によりリーディング劇として同日に上演。各公演後、多和田氏を交えてアフタートークも開催しました。	一般1,000 セット券1,500	135
現代和太鼓アンサンブルの音楽を築いたリーディングカンパニー鼓童若手奏者による地域交流公演を行いました。	大人3,000 こども500 ペア5,500	302
当市出身で現在はドイツを拠点に世界各地で活躍している作家・多和田葉子氏の幅広い芸術活動を国内外に向け発信する拠点となることを目指した事業。今回は、一般市民とともに、多和田氏ならではの発想で「ことば」の可能性を探る、新しい形の朗読会を実施しました。	1,000	19

(イ) 芸術振興事業

②芸術文化の継承事業

計画事業 通し番号	事業名	報	
		自主・共催	実施日・期間
13	フレッシュ名曲コンサート (室内楽) 「弦楽四重奏の夕べ」	共催	12月14日
☆ 14	ホール寄席 「立川志獅丸真打昇進披露落語会」	主催	12月1日
○ 15	【夏休み子ども向け企画】 こども寄席 (2回)	主催	7月23日 7月24日
△ 16	芸小シネマ 「加賀象嵌 中川衛 美の世界—新たな伝統を創る—」 「蒔絵 室瀬和美 時を超える美」	主催	6月26日
17	【夏休み子ども向け企画】 アートテラー・とに～の親子で楽しむ美術トークショー	主催	7月22日
18	くにたち市民オーケストラ 2020年 ニューイヤーコンサート	主催	1月19日

③芸術文化の交流・支援事業

19	スタジオコンサート ①Vol. 92 「真野謡子 x 松田弦デュオコンサート」 ②Vol. 93 「山田磨依ピアノ・リサイタル」 ③Vol. 94 「小栗久美子 トルン・コンサート」 ④Vol. 95 「東京 鮮烈 sess!on」 中止	主催	①5月18日 ②6月15日 ③9月14日 ④10月12日 (中止)
20	くにたちすたじお寄席 ① No.40 ② No.41 ③ No.42は中止	主催	①6/16 ②9/1 ③3/1(中止)
21	日本・ベルギー国際版画交流展 Japan International ART Exhibition	共催	10月10日～11月3日

④創客、利用拡大事業

○ 22	①ランチタイムコンサート (11回) ②サマータイムコンサート・クリスマスコンサート (各1回)	主催	①4/17、 5/15、6/19、7/17、 8/21、9/18、 10/16、11/20、 12/18、1/15、 2/19、3/18(中止) ②8/21、12/18
23	ホールとグランドピアノのシェアプログラム (計17日)	主催	4/23-24、5/27- 28、 6/17-18、7/8-9、 8/18-20、 9/10-11、10/1、 1/28-29、2/25-26
24	ビートルズ トリビュートライブ	主催	7月6日
25	第44回 くにたち音楽祭	共催	6月9日
○ 26	第26回 国立市吹奏楽フェスティバル	共催	9月29日

(ウ) その他

①実行委員会参画事業

○ 27	第29回ファミリーフェスティバル (春風コンサート、ランチタイムステージ、お茶会、野外 劇場五商OG吹奏楽団)	共催	5月5日
28	ギャラリーネットワーク連携事業	共催	①5/19 ②6/2③6/23
○ 29	わくわく子どもフェスタ Vol. 7	共催	2月16日

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
今回は第16回東京音楽コンクール弦楽部門第一位を受賞した関朋岳（ヴァイオリン）を迎え、様々なコンクールで上位受賞を果たしている若手最有力演奏家、戸澤采紀（ヴァイオリン）、島方瞭（ヴィオラ）、佐藤晴真（チェロ）の共演により息の合った演奏を披露しました。	一般2,000 学生1,000	195
落語事業として、第一線で活躍する落語家の話芸を味わう寄席公演を開催。「くにたちすたじお寄席」にレギュラーとして参加している立川志獅丸（前座当時は立川らく太）の真打昇進を記念し、立川志らく一門の真打がほぼ全員揃いして開催の昇進披露落語会としました。 協賛者：谷保駅北口商店会 銀星交通有限会社	一般3,000 高校生以下1,000	278
若手落語家指導で、江戸情緒や昔の暮らしなどに受け継がれる芸を通して親しみ、話芸の世界を体験する落語講座を開催しました。	参加800 見学500	68
（公財）ポーラ伝統文化振興財団制作のドキュメンタリー映画を上映。一流の工芸作家の生き様や作品を表現した、優れた文化映画を紹介しました。	0	22
美術の魅力を伝えるアートテラー・とに～氏による講座。美術作品の新しい観方を、こどもからおとなまで楽しみながら身につけていくヒントを提案します。	500	26
市民にすっかり定着したくにたち市民オーケストラによる管弦楽の新年名曲コンサートを開催しました。	1,000	274

国立市に縁のある音楽家らに公演の機会を提供するとともに、国立市又は近隣の方々に質の高いコンサートを安価な料金で提供することを目的としたコンサートを3回開催しました。	1,000	210
真打ち昇進を目指す若手落語家の話芸を聴き、若手の成長を応援する定例落語会を引き続き開催しました。	1,500	146
2018年のビエンナーレの関連イベントとして実施しており、今回が2回目の開催で、日本・ベルギー国際版画交流展実行委員会との共催で行いました。ベルギー作家12人、日本人作家13人の計25人作品を市内の宇フォーラム美術館で展示しました。	0	172

入場無料、入場制限無しで公益事業として開催。昼時に飲食の出来るハーフタイム公演として実施し、音楽に加え、多彩な実演芸術を紹介します。8月、12月にはサマータイムコンサート・クリスマスコンサートも夕方に開催しました。	0	1,076
ホール利用の予約が少ない平日に、ホールとコンサートグランドピアノの利用を1時間単位で分かち合う利用体験事業を、利用促進事業として実施しました。	2,000	283
ビートルズのコピーバンド3団体による演奏で軽音楽を楽しむ機会としました。市内にある全国的に著名なライブハウスと協働。	1,000	248
参加団体で実行委員会を組織して運営し、市内で活動する様々な音楽団体による、合同発表公演を開催しました。	0	780
参加団体で実行委員会を組織して運営し、主に中高の吹奏楽団体による合同発表公演を開催しました。	0	561

財団、体育協会の共催によるファミリー向け事業を行う中で、芸術小ホールでは、吹奏楽公演、呈茶などを行いました。	0	627
ギャラリーネットワーク事業。美術講演会として、クリムト没後100年記念・シリーズ全3回公演「魅惑の世紀末絵画」を開催しました。	0	215
立川子ども劇場くにたち支部などが実行委員会を組織して、子ども向けの様々な事業を行いました。	0	575

(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）

〔郷土文化館〕（決算額 26,260,244 円）

ア. 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、展示、普及のための事業

① 展示事業

・常設展示

実施事業 通し番号	報		
	事業名	自主・共催	実施日・期間
1	くにたち郷土文化館常設展示	自主	通年
○ 2	ハケと用水の魚類展示	自主	通年
○ 3	ハケに生きる鳥類展示	自主	通年
4	エコロジー&アメニティ空間創出事業	自主	通年

・企画展示

● 5	春季ミニ企画展 「くにたちと災害」	自主	5月25日～7月7日
○ 6	夏季共催企画展 「第8回 くにたち陶芸展」	共催	9月1日～9月21日
● 7	秋季企画展 「カメラが写した国立～本田家資料と広報課移管写真を中心に～」	自主	10月19日～12月1日
○ 8	冬季企画展 「むかしのくらし展」	自主	1月14日～3月6日

② 資料収集・調査・研究事業

9	企画展準備に伴う資料収集及び調査・研究事業	自主	通年
10	西野家資料整理	自主	通年
11	収蔵庫の民具資料整理	自主	通年
12	個人寄贈などの資料整理	自主	通年
13	図書等の資料整理	自主	通年
14	写真資料整理	自主	通年
15	地域資料等の購入・収集及び調査・研究事業	自主	通年
16	自然科学資料の収集・整理及び調査研究事業	自主	通年
17	調査・研究の書籍刊行事業	自主	通年

③ 講座事業（教育・普及事業）

● 18	歴史講座 くにたちの古文書を読む 「襖の下張り文書から-岡引万五郎と甲府の宇吉-」	自主	9月8日
19	自然講座 くにたちの自然と生きものの関わり 「生きものの生息場としてのママ下湧水を知る・調べる」	自主	9月7,8日

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
「多摩川が育んだ段丘（ハケ）とともに生きる私たち」をテーマとした常設展示を行いました。	—	延 17,475
NPO国立市動物調査会の指導を得て、ハケ下の水路や府中用水の魚類を中心に展示しました。	—	—
ハケ周辺で見られる鳥類について、事故死した個体を剥製標本にし、館内に展示しました。	—	—
来館者が地球温暖化や省エネについて考えるとともに、くつろげる空間づくりを施設整備（ハード）、職員の接遇（ソフト）の両面を行いました。	—	—

館が収蔵する災害関連資料を公開し、具体的には、関東大震災（自然災害）等に関する実物資料やパネルを紹介することで、国立の人々が災害とともに生活した歴史を発信し、今後の災害時に向けての防災知識を蓄える機会としました。	—	延 1,741
館の陶芸窯を利用している6団体で実行委員会を組織し、創作活動の成果を発表する場としました。また、ワークショップで実際にマグカップ等を作成したり、電動ろくろ体験をしたり、陶芸の魅力を感じてもらう機会としました。	—	延 721
本田家資料及び、市広報課移管写真を中心に、明治・大正・昭和・平成と移りゆく時代の中で、カメラが写した国立の風景や人々の様子を紹介するとともに、写真の重要性や保存・収集活動について広く周知する機会としました。	—	延 1,749
館所蔵の民具を展示し、昔のくらしや道具についての知識を深める機会としました。民具案内で来館した小学生に展示解説を行いました。	—	延 1,775

将来の企画展示に向けての準備として、国立市に係る資料の収集及び調査・研究を行いました。	—	—
西野家より寄贈された資料（美術品、写真、民俗資料等）の整理を行いました。	—	—
収蔵庫の民具資料を再調査し、データ化を推進しました。	—	—
館に寄贈された資料の整理を行いました。	—	—
寄贈図書等の資料整理を継続し、中央図書館のシステム上で検索可能なデータベース化を行いました。	—	—
市役所広報担当撮影写真のデジタル化を推進し、一部をホームページ等で紹介しました。	—	—
地域資料の購入を含めた収集活動及び地域史に関する調査・研究を行いました。	—	—
館のテーマである「ハケ」に関連する植物や昆虫などの自然科学資料の収集、整理、調査、研究を行いました。	—	—
企画展示の図録、研究紀要など、調査・研究の成果を刊行しました。	—	—

佐伯家から寄贈された襖の下張文書から、江戸時代の治安や遊郭に関する古文書学びました。	—	18
ママ下湧水について、生き物採集や流量の簡易観測等環境調査を含めて座学及びフィールドワークを通して学びました。	300円	延 7

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
● 20	自然講座 くにたちの自然と生きものの関わり 「野鳥の窓ガラス衝突-いったい鳥に何があったのか-」	自 主	11月30日
● 21	端午の節句飾り関連講演会 「日本刀の拵えと刀装具 - 鑑賞入門 -」	自 主	4月27日
22	夏季共催企画展関連事業 「大人の陶芸教室」	共 催	6月29日, 7月13日
○ 23	夏季共催企画展関連事業 「子ども陶芸教室」	共 催	7月27日, 8月17日
24	夏季共催企画展関連事業 「サークル活動紹介・電動ろくろ体験」	共 催	9/1~9/20の8日間
● 25	秋季企画展関連講演会 「本田家の歴史を探る-馬医と村医者-」	自 主	11月9日
26	冬季企画展関連音楽鑑賞事業 「蓄音機でレコードを聴いてみよう」	自 主	2月8日
● 27	冬季企画展関連イベント 「古民家でカメラ・オブスキュラを体験」	自 主	10/26, 11/17, 12/1

イ. 市民が参加及び体験する事業

①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

28	国立市古民家の公開と展示事業	自 主	通 年
○ 29	伝統行事 五月人形・鯉のぼり飾り	自 主	4月19日~5月6日
○ 30	伝統行事 七夕飾り	自 主	6月29日~7月8日
31	わら細工教室/わらぞうり作り	自 主	7月21日
○ 32	古民家事業 十五夜だんご作り	自 主	9月15日
33	干支の折り紙教室	自 主	12月7日
○ 34	わら細工教室/しめ縄作り	自 主	12月15日
35	民具案内 国立市内公立、私立小学校3年生対象 (全11校)	自 主	1月14日~2月20日
○ 36	伝統行事 節分の豆まき	自 主	2月3日
○ 37	伝統行事 ひな人形飾り	自 主	2月14日~3月15日
38	むかしのくらし展関連事業 むかしのくらし展 展示解説	自 主	2月9日

②郷土の自然環境を学び体験する事業

○ 39	くにたち自然クラブ (全7回)	共 催	6月23日~12月8日
○ 40	天体観測 冬の星空ウォッチング (全2回)	自 主	12月4日~2月28日
○ 41	自然観察会 冬の生き物探し	自 主	2月9日

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
野鳥がなぜ窓ガラスに衝突するバードストライクが起きるのか、郷土文化館での過去の事例を元に鳥の生態を学びました。	300円	16
端午の節句に合わせ、郷土に縁のある兜や刀剣類を展示し、各部の名称や鑑賞する上での見どころ等、拵や刀装具について初歩的な講演を開催しました。	—	54
大人対象に作陶、釉薬掛けを各日に行い、手びねりにてマグカップ及び皿を作成し、陶芸展に出品しました。	500円	18
子ども対象に作陶、釉薬掛けを各日に行い、手びねりにてマグカップ及び皿を作成し、陶芸展に出品しました。	500円	20
展示期間中に各団体の活動日にあわせて、電動ろくろの体験をしてもらいました。		43
国立の歴史を多方面より深く学び、教養を深めるため本田家資料から①馬医と本田家に残る馬医書②日記から読み解く村医者らをテーマに開催しました。	—	36
冬季企画展「むかしのくらし展」関連事業として、郷土文化館に収蔵されている蓄音機でSPレコードを鑑賞しました。	—	21
屋外の光が小さな穴から暗い部屋の中に差し込み、外の景色を写しだすピンホール現象を用いたカメラの原点を体験しました。		延 36

国立市有形民俗文化財の復元民家旧柳澤家を一般に公開するとともに、農具等の資料を展示しました。	—	延 11,235
伝統行事の一環として、端午の節句を中心に、収蔵資料の五月人形及び刀剣類を展示し、古民家隣地に鯉のぼりを掲揚しました。	—	延 1,342
伝統行事の一環として、郷土文化館及び古民家に笹竹を飾り、来館者、見学者が短冊に自由に願い事を書いて吊るせるようにしました。	—	延 1,871
むかしの暮らしを知る事業として、暮らしを記録する会の会員より提供された稲わらを使い、わらざうりを作ることで谷保地域の伝統文化を体験しました。	600円	17
十五夜に秋の草花、収穫物、だんごと一緒に飾り、農作物の収穫に感謝する伝統行事「十五夜だんご」を行ないました。	300円	18
和紙で2020年の干支、子を制作することにより、折り紙という日本の伝統文化を体験しました。	1,000円	24
むかしの暮らしを知る事業として、稲わらを使い、正月用のしめ縄飾り作ることによって谷保地域の伝統文化を体験しました。	800円	12
社会科授業の一環として、くにたちの暮らしを記録する会の指導のもと、郷土文化館所蔵の民具の解説と体験を行いました。(桐朋小は中止 10校)	—	延 710
伝統行事の一環として豆まきをし、鬼の退散後、焼いたイワシの頭とヒイラギを合わせてヤイカガシを作り、節分行事を体験しました。	—	65
豪華な段飾りの雛人形を展示し、郷土文化館や古民家を訪れる人達に日本の風習や工芸の美しさを味わってもらいました。	—	2,673
来館者に昔の暮らしの中で使われたものの説明をし、暮らしを助けるための「もの」は時代と共に変化したことを解説しました。		延 10

小学生を対象とし、ハケや湧水、矢川、府中用水、多摩川の生き物や自然の観察を通して、自然の大切さを学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	通年参加費 2,000	延 151
郷土文化館武蔵野庭園において、国立天文台の講師からお話を聞きながら、大型天体望遠鏡で国立から見える宇宙を観察しました。	—	延 38
NPO法人国立市動物調査会の指導のもと、土の中のカブトムシや、朽木の中のクワガタムシの観察をし、自然の観察方法等を学びました。	—	延 15

(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)

[市民総合体育館] (決算額 22,898,746 円)

ア. スポーツ及びレクリエーション活動の振興事業

①健康づくりのスポーツ事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
1	太極拳24式・48式 ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間) ⑤(8日間)	自 主	4月 9日～ 6月 4日 6月11日～ 7月30日 9月 3日～10月29日 11月 5日～12月24日 1月21日～ 3月17日
2	初めての気功と健康太極拳 ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間) ⑤(8日間)	自 主	4月 9日～ 6月 4日 6月11日～ 7月30日 9月 3日～10月29日 11月 5日～12月24日 1月21日～ 3月17日
3	やさしいヨガ ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間)	自 主	5月 8日～ 6月26日 8月28日～10月16日 10月30日～12月18日 2月 5日～ 3月25日
4	水中リズムウォーキング ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間)	自 主	4月 4日～ 5月30日 9月 5日～10月31日 11月 7日～12月26日 1月15日～ 3月 4日
5	骨盤調整&エアロビクス ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間) ④(8日間)	自 主	4月 6日～ 6月 1日 6月15日～ 8月 3日 10月19日～12月21日 1月11日～ 2月29日
6	楽しいフラダンス ①(6日間) ②(6日間) ③(6日間)	自 主	4月18日～ 7月 4日 9月19日～11月21日 12月 5日～ 2月20日
7	大人の初心者水泳教室 (8日間)	自 主	3月 8日～ 4月26日
8	インターバル速歩 12回	自 主	4月5日～3月6日

②スポーツ及びレクリエーションの普及事業

9	初心者ゴルフ教室 (12日間)	自 主	4月 2日～ 6月28日
10	レベルアップゴルフ① (12日間) レベルアップゴルフ② (6日間)	自 主	9月 3日～12月 3日 2月 4日～ 3月24日

イ. 市民が参加及び体験する事業

①親と子供のスポーツ体験事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
11	親子スイミング教室 ①(6日間) ②(6日間) ③(6日間)	自 主	5月13日～ 6月17日 10月28日～12月 9日 2月17日～ 3月30日
12	親子体操教室 ①(8日間) ②(8日間) ③(8日間)	自 主	5月11日～ 6月29日 9月21日～11月16日 1月11日～ 3月 1日
13	親子野球教室 ①(1日) ②(1日)	自 主	10月19日 3月14日

告	参加費等 (円)	参加者数 (人)
事業内容及び説明		
中国武術の一派をもとに制定された健康法として、中国政府が編纂・制定した簡化太極拳を学び、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	421
	5,000	470
	5,000	456
※新型コロナウイルスの影響により、3月3日～3月17日までの3回分を中止しました。	5,000	443
	5,000	269
初心者向けの13勢基本法の太極拳にゆっくりとした呼吸法を取入れ、足腰を鍛錬し、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	438
	5,000	436
	5,000	407
※新型コロナウイルスの影響により、3月3日～3月17日までの3回分を中止しました。	5,000	446
	5,000	262
ヨガの基本的な動作をわかりやすく取り入れ、身体をリラックスさせて心身のリフレッシュと健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	749
	5,000	721
※新型コロナウイルスの影響により、3月4日～3月25日までの4回分を中止しました。	5,000	673
	5,000	334
水中を歩いたりストレッチ、ダンス等を行うことにより、浮力を利用し身体全体を動かすなど、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	411
	5,000	423
	5,000	399
※新型コロナウイルスの影響により、3月4日の1回分を中止しました。	5,000	317
音楽のリズムに合わせた有酸素運動に加えて、骨盤を調整するストレッチを取り入れ、健康な身体作りを目指した事業を実施しました。	5,000	291
	5,000	307
	5,000	297
	5,000	272
音楽に合わせてバランスを取りながら、優雅に全身を動かすことにより健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	135
	5,000	163
	5,000	167
夜間の事業です。大人になっても泳げるようになりたいという方が参加されています。最も参加者の年齢層が幅広い事業です。	5,000	64
「さっさか歩き」と「ゆっくり歩き」を数分間ずつ交互に繰り返すウォーキング法の講習会です。毎月第1金曜日に申込不要の自由参加で開催しています。	無料	457

ゴルフの基本的な技術指導を行い、ゴルフの楽しさや技術とルールを学ぶため事業を実施しました。	18,000	469
ゴルフの応用的な技術指導とルールを学ぶとともに参加者がレベルアップする事業を実施しました。	18,000	456
	9,000	244

告	参加費等 (円)	参加者数 (人)
事業内容及び説明		
親子で水に慣れるとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。 ※新型コロナウイルスの影響により、3月2日～3月30日までの5回分を中止しました。	4,000	25組 255
	4,000	29組 287
	4,000	19組 39
親子で一緒に運動することにより動く楽しさを知るとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	5,000	16組 236
	5,000	21組 262
※新型コロナウイルスの影響により、3月14日分を中止しました。	5,000	26組 265
年中から小学2年生までを対象に、プロの指導員により野球を基礎から学ぶ場を提供することにより、運動の楽しさを知ってもらうために事業を実施しました。 ※新型コロナウイルスの影響により、3月14日を中止しました。	無料	20組 40
		0組 0

②小学生スポーツ体験事業

○	14	小中学生無料開放 (春休み2回) (夏休み2回) (冬休み1回)	自 主	4月 3日 7月24日 8月21日 1月 6日 3月25日
○	15	小学生かけっこ教室 (8日間)	自 主	5月 8日～ 6月26日
○	16	小学生バドミントン教室 ① (6日間) ② (6日間)	自 主	5月11日～ 6月22日 11月 2日～12月14日
	17	小学生ラグビー体験会 (2日間)	自 主	6月23日・30日
○	18	小学生高学年テニス教室 (3日間)	自 主	8月 5日～ 7日
○	19	小学生初心者水泳教室 ①二小 (5日間) ②三小 (3日間) ③四小 (9日間) ④五小 (6日間) ④六小 (5日間) ⑤七小 (5日間)	協 力	8月 5日～ 9日 8月19日～21日 7月23日～30日 &8月21日 7月26日& 7月29日～ 8月 2日 7月22日～26日 8月13日～16日
○	20	初心者ミニバスケット教室 (1回 2日間)	自 主	7月30日～ 8月 1日
○	21	サッカークリニック (1日間)	自 主	1月19日
○	22	体力テスト対策 一小 (1～6年生)	協 力	5月27日 6月 3日 6月10日

③共催事業

○ ☆	23	第29回ファミリーフェスティバル	共 催	5月 5日
☆	24	小学生初心者水泳教室	共 催	5月 8日～5月31日
☆	25	第29回くにたちウォーキング	共 催	10月14日
○	26	スポーツ講演会 講師：宇津木 妙子氏 「夢に向かって～努力は裏切らない～」	共 催	2月24日
☆	27	第30回ダンスコレクション (会場：市民芸術小ホール)	共 催	3月29日

小・中学生を対象に学校の長期休暇期間中、子ども同士や親子で卓球、バドミントン、水泳を楽しく体験し、ルールを学び、スポーツに親しむ事業を実施しました。各種目には指導者を配置しアドバイスを行いました。 ※新型コロナウイルスの影響により、3月25日の春休み1回分を中止とした。	無 料	363 263 204 232 0
運動の基礎となる走力を身に着けるため開催しました。今回は初めて複数回・有料で実施しました。	10,000	302
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サーブ・レシーブ・スマッシュなどバドミントンを基礎から学びました。	2,000	125 123
小学生を対象に初めてラグビーの体験会を開催しました。ボールの投げ方・受け方やタックルの方法などを練習し、最後にタグラグビーを行いました。	無 料	26
小学4年生から6年生を対象に、サーブ・レシーブ・ボレーなどのテニスの基礎を学びました。	無 料	68
教室開催を希望する小学校を対象に、初心者水泳教室を開催しました。定員は設けず、希望者全員が受講しました。また、2学期に水泳の授業が無い小学校では、最終日に検定も行いました。	無 料	1,851
小学生の初心者を対象に、ミニバスケットのゴールでドリブルやシュートなどの基礎を学びました。	無 料	33
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サッカーの基礎や応用を学ぶ場を提供することにより楽しさを知るとともに親睦を図る事業を実施しました。	無 料	108
小学生を対象に全国で行われる体力テスト対策を行いました。テストは、屋内が5種目、屋外が3種目ですが、このうち屋内は4種目、屋外は2種目で行いました。	無 料	354

総合体育館及びその周辺にスポーツやゲームのコーナーを設け、子どもを中心に家族で楽しんでもらうイベントを開催しました。 共催：国立市体育協会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所、(株)F S X、国立温泉 湯楽の里、カルフォルニアレーズン協会、生協の宅配パルシステム	無 料	10,406
小学1年生から高校3年生まで授業で12年間学ぶ水泳を、市内の全小学生が泳げるようになることを目的とした。小学4年生から6年生を対象に、ドル平式の水泳法を指導した。共催：国立市	無 料	282
今年はA：8.1km、S：11.2kmの2コースになりました。高齢者表彰や完歩賞を発行するなど、楽しく参加できるようにするとともに、今年から完走後に抽選くじをひいてもらいました。 共催：国立市体育協会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所、(株)F S X、国立温泉 湯楽の里、カルフォルニアレーズン協会	大人 500 子供 200	330
選手の時も、日本代表監督の時も、常に「目標＝夢」を明確にし、目標に向かって厳しい練習を行い、その夢を実現して来られた体験談を講演してもらう予定でした。共催：国立市体育協会 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	無 料	0
総合体育館と市民芸術小ホールの利用団体によるダンス活動の成果を発表するとともに、ダンスの普及を図る予定でした。 共催：第29回ダンスコレクション実行委員会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所、(有)白十字 ※新型コロナウイルスの影響により中止しました。	指定・700 自由・500	0

(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）
〔総務課〕（決算額 1,510,000 円）

ア. 助成事業

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
1	第33回くにたち兼松講堂音楽の森コンサート 仲道郁代のベートーヴェン (ボランティアチーム・如水コンサート企画)	5月12日
2	第5回国立まと火 (第5回国立まと火実行委員会)	7月21日
3	第4回「子どものためのクラシックバレエの夕べ」公演 (第4回子どものためのクラシックバレエの夕べ実行委員会)	9月7日
4	谷保天満宮獅子舞保存事業 (谷保天満宮獅子舞保存会)	9月21日・22日
5	第43回ふれあいスポーツのつどい (第43回ふれあいスポーツのつどい実行委員会)	10月20日
6	第16回くにたちふれあいコンサート (高齢者福祉を考える会)	11月13日
7	くにたち市民合唱団演奏会	11月30日
8	第47回くにたち元旦マラソン大会 (国立市陸上競技協会)	1月1日
9	第43回塞の神どんど焼 (塞の神どんど焼き実行委員会)	1月13日
10	国立市野球連盟創立70周年記念式典 (国立市野球連盟)	2月16日

* 「春うらら国立・立川さくらウォーキング」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しましたが、100,000円支出済であり、すでに広報費を支出していたことから50,000円を助成金としました。

(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等（定款第4条第7号）

〔総務課〕（決算額 6,213,311 円）

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
☆ 1	財団広報誌「オアシス」の発行事業	4月、6月、8月 10月、12月、2月
☆ 2	財団ホームページの管理事業	随時

告	助成金 (円)	入場者数 等(人)
事業内容及び説明		
「ベートーヴェン生誕250年(2020)プロジェクト」の第8回目として、ベートーヴェン演奏に定評のある仲道郁代氏を迎え、楽聖のピアノ・ソナタの中でも傑作4曲を取り上げ、安価な入場料で披露しました。	150,000	1,060
国立市と児童交流を続けてきた北秋田郡合川町(現在北秋田市合川地区)で古くから行われてきた伝統行事の「まと火」を国立市の夏のイベントとして実施しました。また、合川太鼓保存会と国立天神太鼓のコラボ演奏による文化交流を図りました。	150,000	1,500
クラシックバレエの全幕物の抜粋及びコンテンポラリーなどのわかりやすい作品を公演して、出演する子どもにも、鑑賞する子どもにもクラシックバレエの素晴らしさに触れてもらいました。	60,000	380
国立市指定文化財「獅子舞」の保存と後継者の育成に寄与しました。	120,000	40
しょうがい者と健常者が一緒にスポーツを行い、お互いに理解と親睦を深めました。	200,000	1,216
高齢者を対象(中心)に、ピアノ、バイオリン等を演奏し、生の音楽を聴いてもらいました。また、昨年に引き続き韓国の音楽大学教授も参加され、日韓親善友好の音楽会となりました。	180,000	350
芸術小ホールを中心に市民への合唱普及活動を30年以上継続しています。合唱の未経験の方も、年齢に関係なく、誰でも体験してもらう場を提供し、市民に対する合唱音楽普及に貢献しました。	200,000	278
10km、5km、3kmに分け、幅広い年齢層を対象に元旦マラソン大会を実施しました。	50,000	84
国立市に生まれ育った子どもたちに伝統文化を知らせ、郷土意識を養いました。	150,000	3,000
野球をこよなく愛する市民の交流の場として、また市民の健康とスポーツの振興に寄与するために、年2回の大会を運営してきた野球連盟が70周年を迎え、記念式典、記念誌の発行等を行いました。	200,000	90

告	事業費 (円)	発行数 (部)
事業内容及び説明		
各館の事業を中心に年6回隔月に「オアシス」を発行し市内全世帯に配布しました。 発行部数 毎回約42,500部、 8ページ1回、6ページ2回、4ページ3回 発行形態 タブロイド判 全頁フルカラー 広告1枠(8センチ×6センチ) 広告収入7社28枠 (710,000円)	4,824,037	256,050
ホームページを通して、事業内容、財団の情報を発信しました。 随時更新	1,389,274	—

(6) 総合評価

(芸術小ホール)

- ・自主・共催事業については、新型コロナウイルスの関係で年度末に予定していた事業を中止・延期したことを除いて、概ね計画のとおり実施できました。
- ・「ビエンナーレ事業」については、2年をかけて検討した結果、ビエンナーレとして彫刻作品を公募し、コンペを開催、賞金を授与して彫刻作品を街に設置していくという枠組みの継続は困難であると考え、新たな枠組みとしてのスキームを作るため、ビエンナーレは一旦中止することを決定しました。
- ・「芸術環境創造事業」では、大学や学校、地域の芸術団体・個人との協働により事業を実施することができました。芸術分野における地域の優れた人材・団体の協力体制を今後もより広く、深く進めてまいります。
- ・「芸術振興事業」では、定番となった落語やフレッシュ名曲コンサート等の芸術鑑賞・伝承を行う事業を継続・充実させることができました。また新たな芸術的表現や価値の創造を追求する事業への取り組みが定着しつつあり、その姿勢と実績をもとに今後当ホールの柱のひとつとして強化していきます。
- ・昨年度から導入したツイッターやデジタルサイネージの運用が本格的となり、さらに財団のメールマガジンを開始し広報ツールの充実を図りました。担当者を中心にさらなる研鑽を重ね、効率的かつ効果的な広報活動へとつなげていきます。
- ・施設・設備の老朽化および自然災害による不具合が間断なく発生し、その対応の負担が大きくなっています。限りある予算の中、職員による修繕作業など可能な限りの対策も行いつつ、施設利用への影響をできるかぎり少なくする努力を引き続き行っています。

(郷土文化館)

- ・自主・共催事業については、新型コロナウイルスの関係で年度末に予定していた4事業を中止したことを除いて、概ね計画のとおり実施できました。
- ・春季ミニ企画展「くにたちと災害」は、当館所蔵の関東大震災及び太平洋戦争に関する資料を展示し、また、市防災安全課所蔵の備蓄品を併せて展示し、国立の人々が災害とともに生活した歴史を発信し、今後の災害時に向けての防災知識を備える機会としました。災害は、自然災害、人為的災害いずれも人命や社会生活へ影響を及ぼす繊細な課題であり、「一部来館者から自然災害と人為災害は一緒に取り扱うべきではない。また、戦争を災害と解釈するのはいかなものか。」との指摘を頂き、災害認識について本事業を通し考えさせられました。
- ・夏季共催企画展「第8回 くにたち陶芸展」は、郷土文化館を利用している6団体で実行委員会を組織し、各サークルの創作活動の成果の発表の場としました。関連事業として、大人陶芸教室及び子ども陶芸教室を実施し、実際に手びねりでマグカップや皿を作成し、企画展示中に同時に展示したことは概ね好評でした。また、陶芸の魅力を感じてもらうため、展示期間中に各サークルの活動日にあわせサークル活動紹介や電動ろくろ体験も実施しました。
- ・秋季企画展「カメラが写した国立～本田家資料と広報課移管写真を中心に～」は、2016年に国立市に寄贈された本田家資料及び、郷土館所蔵の市広報課移管写真を中心に、明

治・大正・昭和・平成と移りゆく時代の中で、カメラが写した国立の風景や人々の様子を紹介することを目的とするとともに、過去の歴史を知る上での写真の重要性や郷土文化館としての保存・収集活動についても広く知ってもらおう機会としました。来館者には概ね好評でしたが、写真のコレクションに偏りがあり、昭和のはじめから昭和 20 年代頃の国立大学町開発にあたる地域の写真が少ないことが展示行なうにあたってわかりました。これからは、写真を提供してくれる市民との繋がり作りや古い写真の掘り起こしなどの課題があるということが理解されました。

(総合体育館)

- ・ 自主・共催事業については、新型コロナウイルスの関係で年度末に予定していた事業を中止したことを除いて、概ね計画のとおり実施できました。
- ・ 重点事業の小学生対象の事業については、第一小学校で全学年を対象に体力テスト対策事業を実施しました。男女・学年別で 75%が市内平均を上回ったので、一定の成果があったものと評価しています。
- ・ 小学生の夏休み水泳教室は過去最高の 6 校で開催しましたが、暑さのため大部分が中止になった学校もありました。2年連続しての酷暑により中止が多かったので、今後、どのように開催していくか課題となりました。
- ・ 障害者手帳所持者等に対し、総合体育館の個人利用を無料で利用できる制度を本格実施しました。
- ・ 河川敷公園の有料公園施設（野球場・サッカー場）は台風被害により約半年間使用できませんでしたが、復旧工事により施設は整備されました。

(総務課)

- ・ 広報紙「オアシス」発行事業については、より市民に見やすいことを心掛けて編集しました。今後においても財団として、オアシスは非常に重要な広報媒体でありますので、より親しみやすく、多くの市民に読んでいただけるよう編集の創意工夫に努めていきます。財団としての財源確保のため、オアシスへの広告掲載依頼等についても引き続き努力していきます。また、ホームページについては、市民にわかりやすく、早急に情報提供できるよう努めていきます。

2. 指定管理事業

国立市との協定による施設の管理運営事業

(1) 市民芸術小ホールの利用状況

(ア) 利用料収入

施設名	2019年度			2018年度			増(-)減
	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	
ホール	5,657,280	7,095,950	12,753,230	5,572,590	5,950,000	11,522,590	1,230,640
スタジオ	1,065,150	728,700	1,793,850	1,183,020	633,700	1,816,720	△ 22,870
音楽練習室	1,326,660	293,850	1,620,510	1,333,040	253,800	1,586,840	33,670
アトリエ	544,600	4,400	549,000	452,800	800	453,600	95,400
ギャラリー	546,000	600	546,600	432,000	0	432,000	114,600
合計	9,139,690	8,123,500	17,263,190	8,973,450	6,838,300	15,811,750	1,451,440

※2019/7/27～2019/8/5の間のアトリエは床修繕工事のため利用不可。

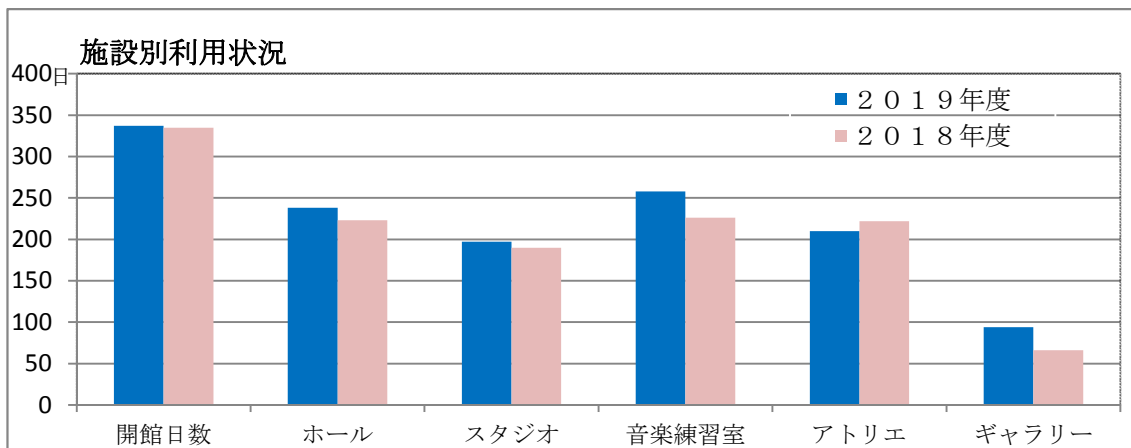
※2020/3/1～2020/3/31の間、新型コロナウイルス感染拡大予防のため全館に利用自粛要請あり。

※2018/4/1～8/31の間の平日と土曜日は総合体育館・芸術小ホール外壁工事のため利用制限あり。

2019年度減免利用料額			新型コロナウイルス感染症による減免取消額 (2019年度)		
施設	付属設備	合計	3月：1,184,700		
8,856,700	5,289,100	14,145,800	単位：円		
2018年度減免利用料額			差引増(-)減額		
施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計
7,481,100	6,055,550	13,536,650	1,375,600	-766,450	609,150

(イ) 施設別利用状況

2019年度	施設名	利用日数	利用率	利用件数	市内	市外	利用者数
	開館日数 337日	ホール	238日	70.6%	327件	254件	73件
スタジオ		197	58.5	310	215	95	9,169
音楽練習室		258	76.6	424	287	137	8,718
アトリエ		210	62.3	275	246	29	4,854
ギャラリー		94	27.9	96	79	17	4,986
エントランス		12	3.6	12	12	0	2,112
計				1,444	1,093	351	59,767
2018年度	施設名	利用日数	利用率	利用件数	市内	市外	利用者数
	ホール	223日	66.6%	239件	186件	53件	31,671人
	スタジオ	190	56.7	242	168	74	9,889
	音楽練習室	226	67.5	288	195	93	7,258
	アトリエ	222	66.3	281	251	30	4,357
	ギャラリー	66	19.7	66	54	12	3,883
	エントランス	6	1.8	6	6	0	700
計			1,122	860	263	57,758	



市民芸術小ホール利用状況

<2019年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2019年 4月	15	17	17	14	14	4	8	16	8	14	8	2	17	1
2019年 5月	8	11	11	9	13	7	14	15	6	14	6	4	3	2
2019年 6月	12	14	9	13	15	12	17	17	15	14	8	5	5	1
2019年 7月	14	19	15	19	13	12	17	21	17	16	7	6	5	1
2019年 8月	21	20	18	17	16	9	16	18	10	8	3	2	0	1
2019年 9月	20	22	17	12	16	13	18	20	12	20	10	5	4	1
2019年 10月	20	22	26	16	21	15	22	22	21	17	14	13	14	1
2019年 11月	22	25	13	17	23	13	18	25	19	18	15	8	20	1
2019年 12月	23	24	25	13	13	13	18	20	15	20	14	6	16	1
2020年 1月	16	19	14	8	10	4	16	18	8	14	10	2	0	1
2020年 2月	19	19	17	14	15	7	21	21	12	16	13	5	10	1
2020年 3月	4	3	2	3	2	1	2	5	1	2	2	1	0	0
合 計	194	215	184	155	171	110	187	218	144	173	110	59	94	12

※2019/7/27～2019/8/5の間のアトリエは床修繕工事のため利用不可。

※2019/10/24（木）は通常休館日のところ、市・政策経営課利用のため開館。

※2020/3/1～2020/3/31の間、新型コロナウイルス感染拡大予防のため全館に利用自粛要請あり。

<2018年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2018年 4月	9	10	9	9	13	3	10	10	6	12	6	3	7	0
2018年 5月	6	8	10	5	10	4	11	8	8	12	6	5	1	0
2018年 6月	8	10	12	10	13	6	12	13	13	15	10	4	3	0
2018年 7月	5	10	13	14	14	12	9	9	9	13	5	5	1	0
2018年 8月	9	11	12	4	6	7	6	11	9	7	3	2	0	0
2018年 9月	21	22	18	13	13	11	12	16	13	19	10	8	2	0
2018年 10月	15	16	14	15	17	11	14	14	16	18	19	13	15	1
2018年 11月	16	22	16	12	15	7	14	15	14	16	9	8	15	1
2018年 12月	21	20	17	11	11	9	14	17	9	14	8	2	8	1
2019年 1月	17	17	16	11	15	7	13	14	7	14	9	4	0	1
2019年 2月	22	22	19	16	19	16	17	20	15	19	17	12	10	1
2019年 3月	22	25	20	15	19	11	12	14	12	17	18	8	4	1
合 計	171	193	176	135	165	104	144	161	131	176	120	74	66	6

※2018/4/1～8/31の間の平日と土曜日は総合体育館・芸術小ホール外壁工事のため利用制限あり。

(2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況

(ア) 施設・設備利用料収入

単位：円

年 度 (平成)	利用料収入額			減免利用料		
	施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計
2019年度	1,020,200	149,500	1,169,700	1,514,100	34,500	1,548,600
2018年度	1,038,500	183,500	1,222,000	1,390,300	18,000	1,408,300
増(一)減	-18,300	-34,000	-52,300	123,800	16,500	140,300

(イ) 施設別利用状況

単位：件

施設名	年度 (平成)	利用時間帯別利用件数 (年間336日)														
		午前			午後			夜間			全日			合計		
		有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
講 堂	2019年度	100	22	122	189	9	198	113	0	113	0	0	0	402	31	433
	2018年度	107	28	135	167	11	178	121	1	122	0	0	0	395	40	435
研修室 1	2019年度	28	40	68	71	27	98	1	5	6	0	0	0	100	72	172
	2018年度	42	65	107	90	39	129	5	5	10	0	0	0	137	109	246
研修室 2	2019年度	162	33	195	175	24	199	0	6	6	0	0	0	337	63	400
	2018年度	167	38	205	191	26	217	0	5	5	0	0	0	358	69	427
特別展示室	2019年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	188	188	0	188	188
	2018年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164	164	0	164	164
合 計	2019年度	290	95	385	435	60	495	114	11	125	0	188	188	839	354	1,193
	2018年度	316	131	447	448	76	524	126	11	137	0	164	164	890	382	1,272

※2月～3月 コロナの影響でイベント自粛

(ウ) 付属設備利用状況

単位：件

年 度 (平成)	ビデオ映写装置			移動展示ケース			スライド映写機			16ミリ映写機			OHP			陶芸用電気釜			合 計		
	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
2019年度	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	6	32	27	6	33
2018年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	3	35	32	3	35

(エ) 事業収入等状況

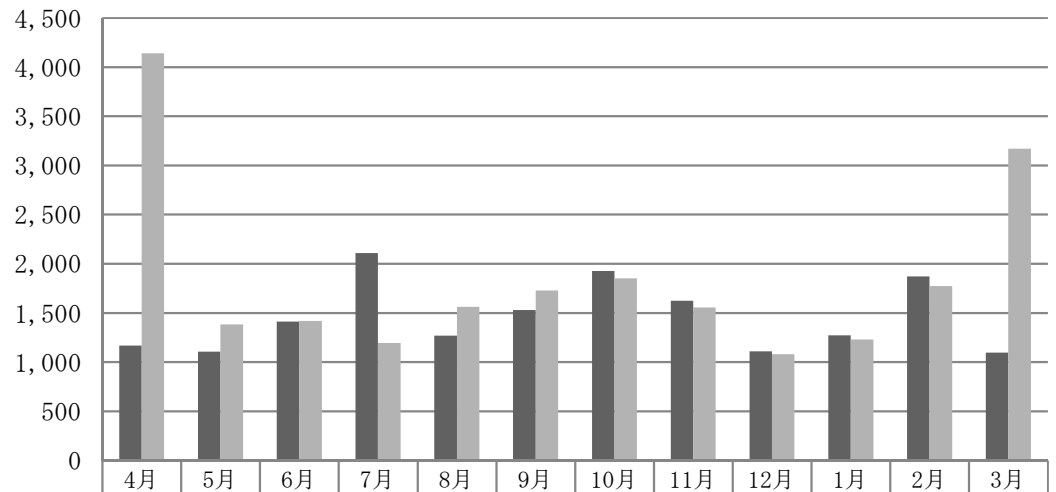
年 度 (平成)	入館者 (人)			事業収入等 (円)					事業参加者 (人)		
	郷土文化館	古民家	合 計	入場料	参加費	図録売上	その他	合 計	有 料	無 料	合 計
2019年度	17,475	11,235	28,710	0	144,400	410,000	19,570	573,970	208	12,780	12,988
2018年度	22,066	7,033	29,099	0	192,600	716,700	17,200	926,500	255	11,661	11,916
増(一)減	-4,591	4,202	-389	0	-48,200	-306,700	2,370	-352,530	-47	1,119	1,072

※2月～3月 コロナの影響でイベント自粛

※図録は昨年度は本田家関連の図録売上が大きく貢献

単位：人

郷土文化館
入館者数



■2019年度開館日336日	17,475人	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■2018年度開館日335日	22,066人	4,138	1,380	1,418	1,194	1,559	1,726	1,849	1,555	1,080	1,228	1,771	3,168

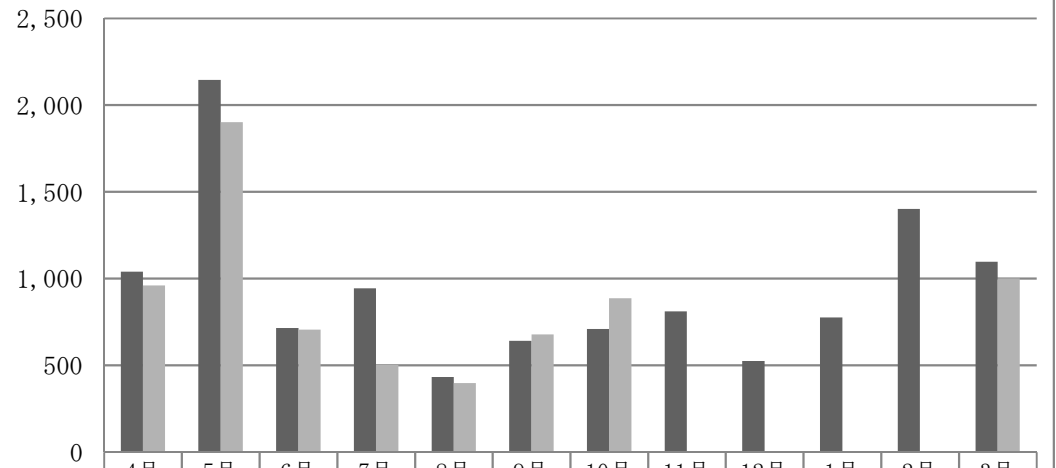
※7/1～7/7 JR東日本「駅からハイキング」(873人：天候不良で前年比約900名減)

※3月 コロナの影響でサクラウォーキング中止(前年(4月、3月)比約3,000人減)

※3月 コロナ自粛の影響で入館者数減

単位：人

古民家
入館者数



■2019年度開館日335日	11,235人	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
■2018年度開館日200日	7,033人	961	1,901	706	503	398	677	887	0	0	0	0	1,000

※昨年度(11月～3月) 屋根茅葺工事のため閉館

※3月 コロナの影響で里山フェスタ中止(前年比約1000名減)

(3) 市民総合体育館の利用状況

(開館日数: 336 日)

ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			減免利用料			
	個人	団体貸切	合計	減免	グリーンパス等	特保	合計
2019年度	25,117,440	7,414,660	32,532,100	2,105,000	5,128,400	135,700	7,369,100
2018年度	26,826,290	8,456,415	35,282,705	2,261,750	6,136,250	176,200	8,574,200
増減	-1,708,850	-1,041,755	-2,750,605	-156,750	-1,007,850	-40,500	-1,205,100

イ 個人利用の状況

単位:人

	第一、二、三体育室			室内プール			
	個人	グリーンパス等	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2019年度	24,597	6,157	30,754	18,705	8,897	50	27,652
2018年度	27,382	6,688	34,070	21,314	10,481	50	31,845
増減	-2,785	-531	-3,316	-2,609	-1,584	0	-4,193

	トレーニング室				合計			
	個人	グリーンパス等	特保	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2019年度	30,511	15,214	395	46,120	73,813	30,268	445	104,526
2018年度	34,203	17,652	529	52,384	82,899	34,821	529	118,249
増減	-3,692	-2,438	-134	-6,264	-9,086	-4,553	-84	-13,723

ウ 団体貸切利用の状況

単位:(団体数)団体、(人数)人

	第一～三体育室		室内プール		会議室		ステージ
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
2019年度	2,428	53,759	507	13,130	394	9,999	28
2018年度	2,536	58,500	682	14,869	495	11,796	30
増減	-108	-4,741	-175	-1,739	-101	-1,797	-2

※2月～3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用自粛及び中止

単位:(団体数)団体、(人数)人

	合計	
	団体数	人数
2019年度	3,357	76,888
2018年度	3,735	85,165
増減	-378	-8,277

総利用者数 単位:人

個人利用+団体貸切+保育室	
2019年度	182,991
2018年度	206,067
増(-)減	-23,076

エ その他 保育室利用状況

保育室	利用件数	人数
		316件

・駐車場利用状況(届け出台数)

駐車場	利用台数	1日平均
		22,823台

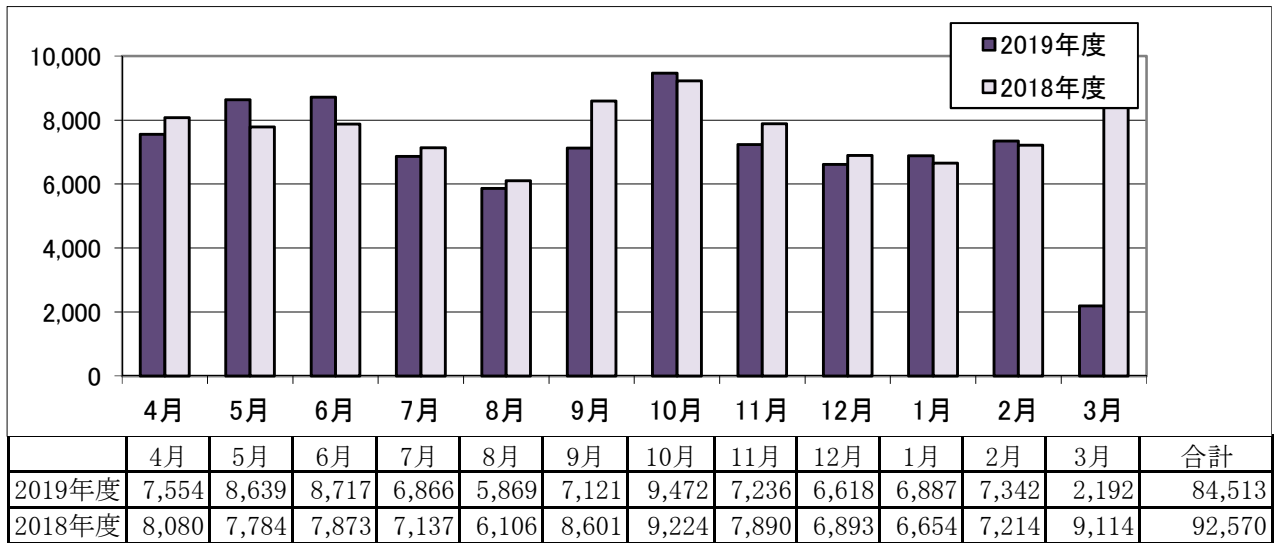
オ くにたち南市民プラザ:トレーニング室利用状況

(開館日数: 189 日)

	個人利用料 収入額(円)	減免利用料(円)				利用人数(人)				
		グリーンパス	特保	無料券	合計	個人	グリーンパス	特保	無料券	合計
2019年度	1,279,940	496,800	4,500	60,000	561,300	2,697	3,312	15	200	6,224
2018年度	1,181,230	523,950	24,600	49,200	597,750	2,715	3,553	82	164	6,514
増減	98,710	-27,150	-20,100	10,800	-36,450	-18	-241	-67	36	-290

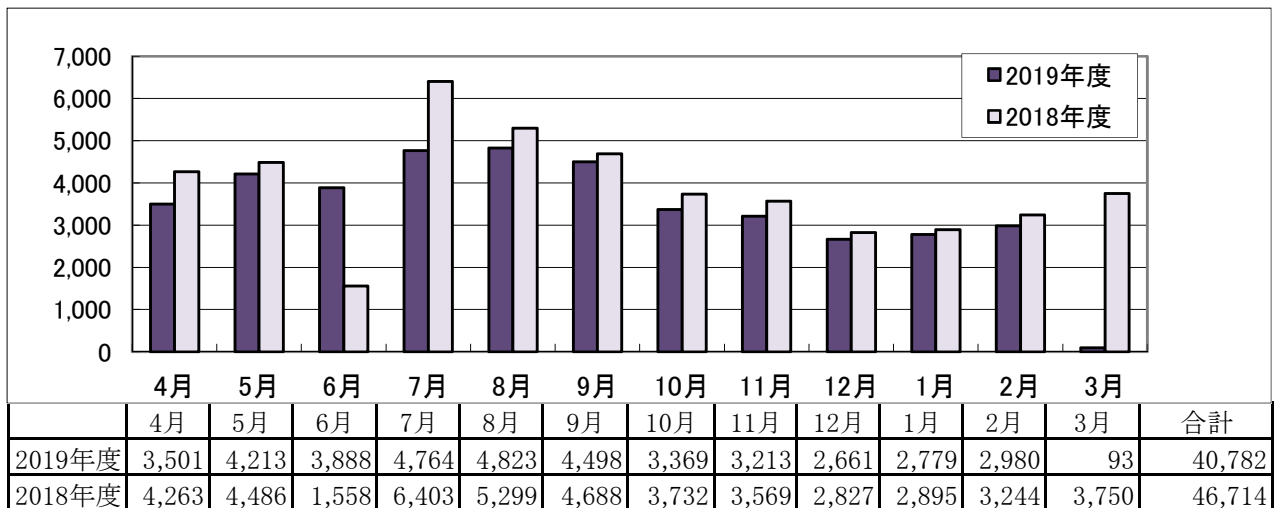
カ 第一、二、三体育室月別利用状況

単位(人)



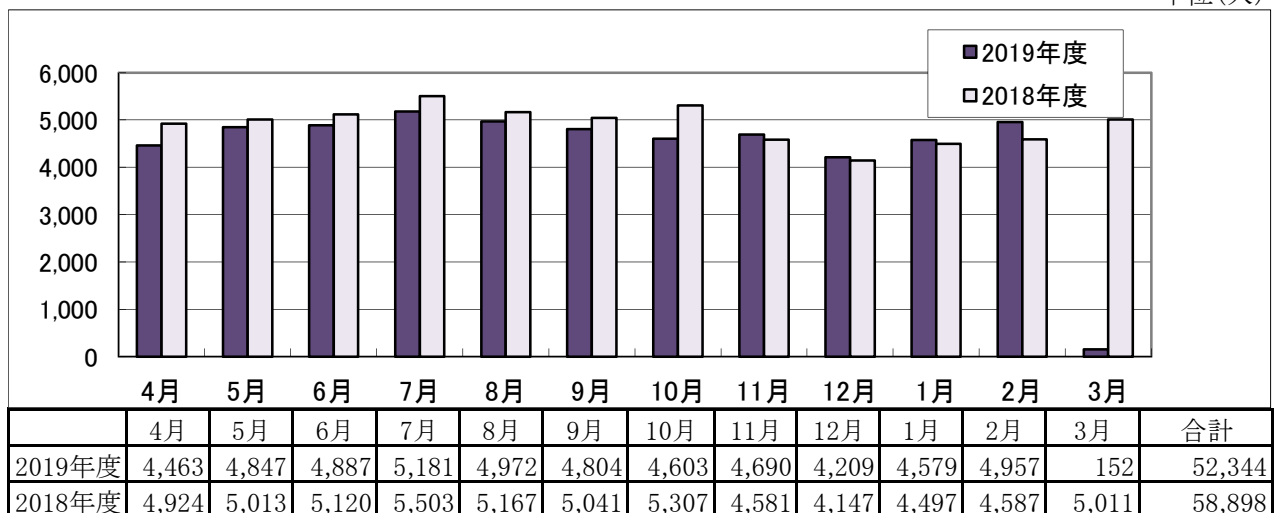
キ 室内プール月別利用状況

単位(人)



ク トレーニング室月別利用状況(くにたち南市民プラザを含む)

単位(人)



※新型コロナウイルスの関係で体育室の貸切利用を除き3月上旬から利用を中止しています。

(4) 有料公園施設等の利用状況

ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2019年度	16,271,150	1,470,000	395,500	18,136,650
2018年度	17,027,300	1,715,500	639,000	19,381,800

減免利用料

単位:円

	減免利用額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2019年度	665,700	3,822,500	875,000	5,363,200
2018年度	623,700	4,256,000	839,000	5,718,700

イ テニスコートの利用状況

単位:1面1時間

	テニスコート			
	谷保	矢川	広場	合計
2019年度	8,310	7,688	10,020	26,018
2018年度	8,767	8,107	10,525	27,399

テニスコートの利用率

単位:1面1時間

	テニスコート利用率			
	谷保	矢川	広場	平均
2019年度	87.75%	81.12%	66.40%	78.42%
2018年度	94.54%	86.72%	73.99%	85.08%

ウ 野球・サッカーの利用状況

単位:1面1時間

	野球場				サッカー	合計
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	小計		
2019年度	2,319	2,373	1,274	5,966	1,151	7,117
2018年度	2,177	3,472	1,219	6,868	1,669	8,537

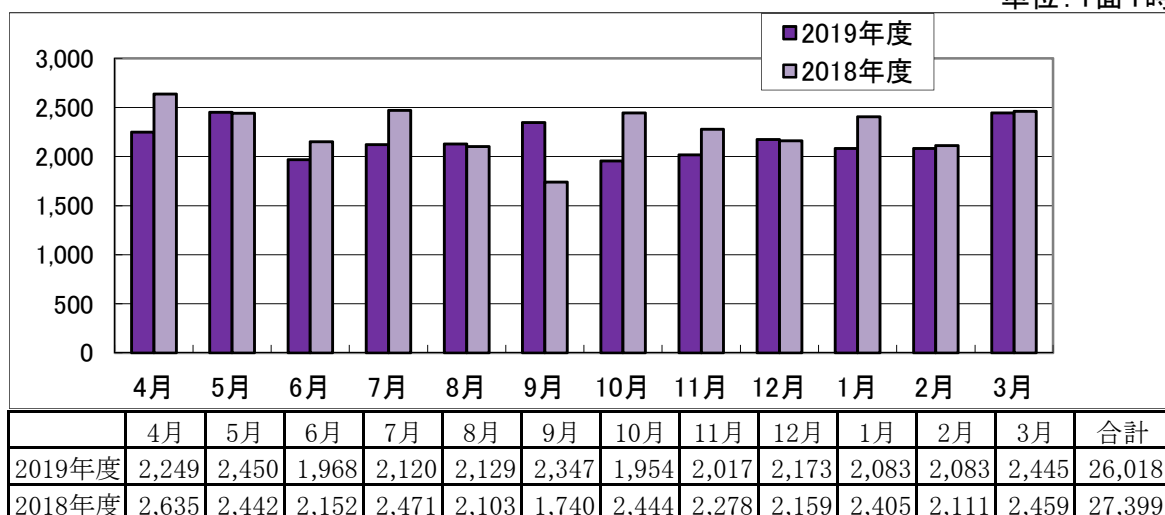
野球・サッカーの利用率

単位:1面1時間

	野球場利用率				サッカー場利用率	平均
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	平均		
2019年度	69.87%	61.41%	48.28%	59.85%	58.49%	59.51%
2018年度	67.71%	61.16%	53.09%	60.65%	51.86%	58.46%

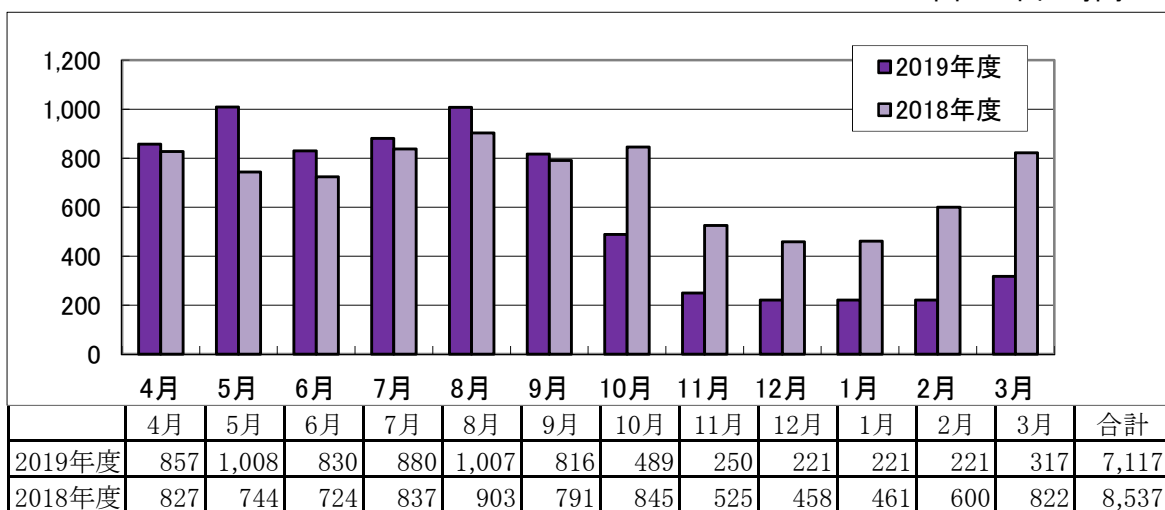
エ 谷保・矢川・広場テニスコート月別利用状況

単位：1面1時



オ 野球・サッカー月別利用状況

単位：1面1時間



※河川敷有料公園施設(野球場・サッカー場)が台風第19号の被害を受け、10月12日から3月27日まで使用できなかったため減少している。

3. 管 理

(1) 役員及び役員会等に関する事業

ア. 理事、監事及び評議員等の名簿

(ア) 理事

(2020年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
理事長	竹内光博	2019年5月30日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	国立市副市長
常務理事	高橋一成	〃	常 勤	公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団事務局長
理 事	浅見美弥子	〃	非常勤	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学学長
〃	池田良二	〃	〃	武蔵野美術大学名誉教授
〃	小澤孝造	〃	〃	国立の自然と文化を守る会名誉会長
〃	武田忠善	〃	〃	国立音楽大学学長
〃	峰岸秀征	〃	〃	国立市体育協会会長
〃	宮崎宏一	〃	〃	国立市教育委員会教育次長

(イ) 監事

(2020年3月31日現在)

役職名	氏名	任 期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
監 事	木村淳二	2019年5月30日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	税理士
〃	佐藤収一	〃	〃	会社会長

(ウ)評議員

(2020年3月31日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	尾崎良一	2019年5月30日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	国立市体育協会理事長
〃	笠間信也	〃	〃	NPO国立市動物調査会理事
〃	佐伯安子	〃	〃	くにたちの暮らしを記録する会 会長
〃	坂なつこ	〃	〃	国立大学法人一橋大学大学院 社会学研究科教授
〃	塩野啓子	〃	〃	塩野啓子バレエスタジオ代表
〃	宍戸彰	〃	〃	くにたち市民オーケストラ団員
〃	山井佳代子	〃	〃	会社会長
〃	綿引康司	〃	〃	たましん地域文化財団理事
〃	和田哲	〃	〃	国立市文化財保護審議会委員

イ. 理事会等の開催

(ア)理事会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2019年5月15日	第1号議案 定時評議員会の招集(案) 第2号議案 平成30年度事業報告(案) 第3号議案 平成30年度決算(案) 第4号議案 理事候補者(案) 第5号議案 監事候補者(案) 第6号議案 評議員候補者(案)	可決 可決 可決 可決 可決 可決
2019年5月30日	第7号議案 理事長及び常務理事の選定	可決
2019年10月17日	第9号議案 臨時評議員会の招集(案)	可決
2020年2月20日	第10号議案 臨時評議員会の招集(案) 第11号議案 2020年度事業計画書(案) 第12号議案 2020年度収支予算書(案)と資金調達及び 設備投資の見込みを記載した書類(案)	可決 可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2019年10月17日	協議事項① 2020年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2019年5月15日	報告事項① 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項② 寄附金等特定資産の運用の状況について	
2019年10月17日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正について 報告事項② 理事長・常務理事の職務の執行状況	
2020年2月20日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況	

(イ) 評議員会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2019年5月30日	第1号議案 平成30年度決算 第2号議案 理事の選任 第3号議案 監事の選任 第4号議案 評議員の選任	可決 可決 可決 可決
2020年2月28日	第5号議案 2020年度事業計画書 第6号議案 2020年度収支予算書と資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類	可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2019年10月31日	協議事項① 2020年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2019年5月30日	報告事項① 平成30年度事業報告 報告事項② 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項③ 寄付金等特定資産の運用の状況について	
2019年10月31日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正について	

※その他の報告事項は含みません。

(ウ)監査

開催年月日	監査事項
2019年5月8日 決算監査	平成30年度決算書 平成30年度事業報告書
2019年11月8日 中間監査	2019年度収支決算書(上半期分) 2019年度事業報告書(上半期分)